

協働のまちづくりをめざして ～地域組織の役割とは！？～

シンポジウムの流れ

- 1 事例発表
湯田学区 外部団体との連携
- 2 交流会
事例発表について意見交換



8月21日シンポジウムを開催しました。

1 事例発表

湯田学区 協働のまちづくりをめざして
～地域組織の役割とは！？～

— 「仕事と暮らし」が「まちづくり」の両輪 —

まちづくり推進委員長に就いた2018年にまちづくり推進委員会について理解が浅いと感じ、現状の確認を行った。

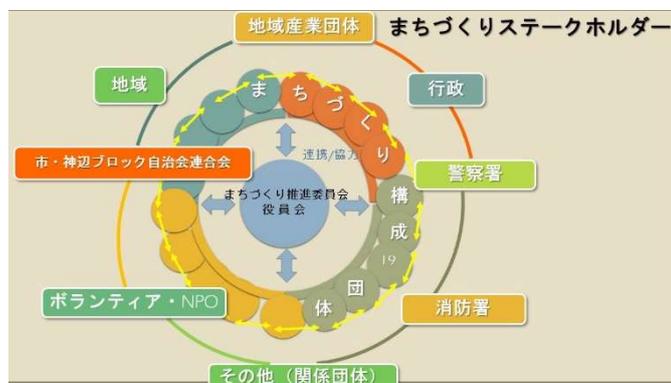
その確認を受けて、2019年から4年間の第2次まちづくり推進計画を作成し、構成団体相互の理解と体制の再整理、実施事業の目的確認と見直しを行ってきた。

例として、自主防災組織では、様々な役割に複数の団体から役員として選出していたが、役割の整理により、人員を削減したことで負担感の減少と機動性の向上につながった。

また、地域のまちづくりにおいてデジタル化を推進するため、ワーキンググループを発足（現在は、部会として活動中）したが、そのメンバーに商工会青年部の方がおられ、商工会青年部との交流のきっかけとなった。

商工会青年部はこれまで地元高校生と企業による情報誌を作成し、発行するなど商業視点でのまちづくり活動をされており、「仕事と暮らし」が「まちづくり」の両輪であると気づいた。

今後は2023年からの第3次まちづくり推進計画を策定し、持続可能なまちづくりの観点から、引き続き、構成団体の見直しや役割の整理を行うとともに、研修会・勉強会を通じてまちづくりを知ってもらうなど内部組織強化と商工会青年部など地域のほかの団体との「仕事と暮らし」の両輪で活動していく予定としている。



2 交流会

出た意見

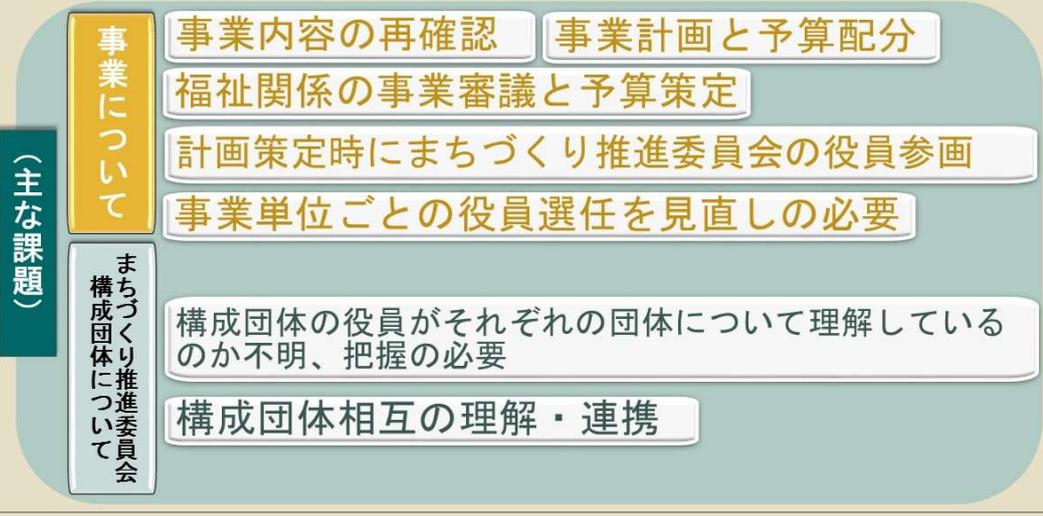
- ・今後の自治会活動の参考としたい。
- ・大変良いものだった。本日の内容について、資料をゆっくり確認させてもらいたい。

第2次まちづくり推進計画

期間：2019年度～2022年度（4年間）

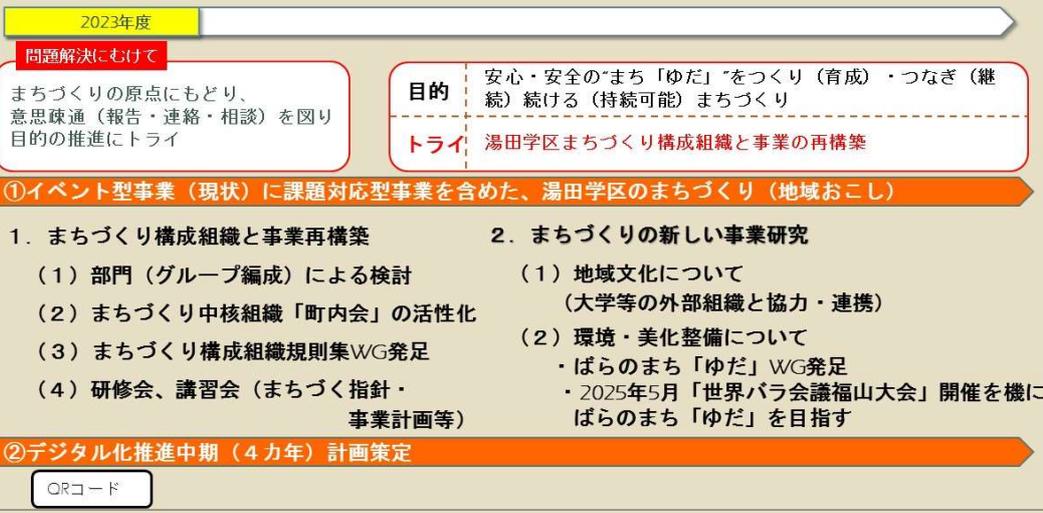


【「湯田学区まちづくり」の、主な課題と今後に向けて】 2020年2月



第3次まちづくり推進計画

期間：2023年度～2026年度（4年間）



【問合せ先】 神辺地域振興課

電話：084-962-5026 FAX：084-963-4790

メールアドレス：kannabe-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp